

# FUJITSU Software NetCOBOL

## 購入例：Windows(.NET)

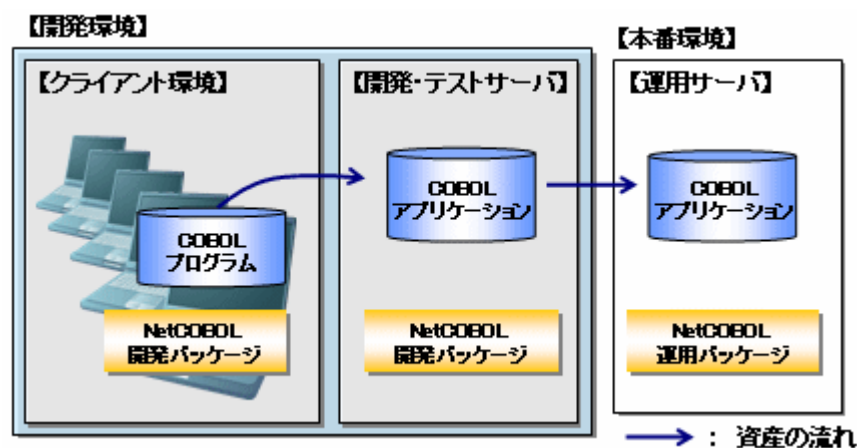
2020年9月14日時点

### サーバアプリケーションを開発する場合

ここでは、以下のような流れで、COBOL アプリケーションを開発、運用するパターンを例に説明します。

1. クライアント環境にある各 PC で COBOL アプリケーションを開発します。
2. 開発・テストサーバで、各 PC の COBOL アプリケーションをコンパイル、リンクし、テストを実施します。
3. 運用サーバに COBOL アプリケーションを配置し、運用します。

### ローカル開発



#### 【開発環境】

クライアント環境では、Windows (32bit)環境 PC(5台)で開発します。

開発・テストサーバ (Windows: 1 プロセッサ) において、クライアント環境で作成した COBOL アプリケーションをコンパイル、リンクし、テストを実施します。

#### 【本番環境】

テスト終了後、運用サーバ(Windows: 1 プロセッサ)に COBOL アプリケーションを配備し、運用します。

## 必要ライセンス

開発環境製品はインストール台数従量制、サーバ運用環境製品は搭載プロセッサ数従量制です。ライセンスの考え方については、[ライセンス](#)を参照してください。

| 使用する環境    | 製品名  | 本数 |
|-----------|--|----|
| クライアント環境  | Windows(.NET) NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ(注) | 5  |
| 開発・テストサーバ | Windows(.NET) NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ    | 1  |
| 運用サーバ     | Windows(.NET) NetCOBOL Standard Edition サーバ運用パッケージ | 1  |

**注)** 上記購入例は、「帳票があるサーバアプリケーションを開発する場合」です。クライアント環境で使用する製品は、ご使用になる機能により、必要なエディションを選択してください。詳細は、「[機能一覧](#)」を参照してください。